

作業効率が大幅アップした「ホームページ・ビルダー7」は

エディター派も使いたい

# ウェブ作成ツール

text : 編集部



発売元: 日本アイ・ビー・エム株式会社

出荷開始日: 11月1日

標準価格: 14,800円(バージョンアップ版は7,800円)

対応OS: ウィンドウズXP/Me/2000/98/NT 4.0 SP6以上  
DVカメラからビデオを取り込む場合は、XP/Me/2000/98SE

CPU: Pentium 133MHz以上を推奨  
ビデオ編集機能を使う場合は、Pentium 266MHz以上

必要メモリ: 64MB以上(128MB以上推奨)

ハードディスク容量: 最小構成100MB以上~  
最大構成320MB以上の空き

参考URL: [www.ibm.com/jp/software/internet/hpb/](http://www.ibm.com/jp/software/internet/hpb/)

問い合わせ先: ダイヤルIBM 0120-04-1992

## ユーザーニーズに最大限に応えた機能と使い勝手 「ホームページ・ビルダー7」登場!

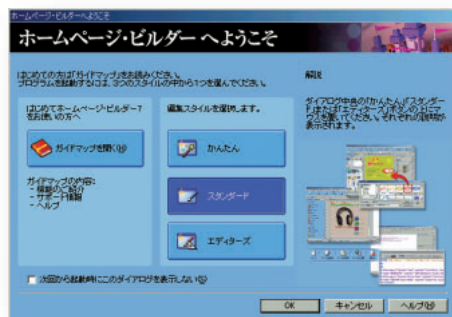
ホームページ作成ソフトは、「安くて簡単」「プロ指向」と大きく二極化の傾向にある。5千円で買えるジャンглの「ホームページ制作王」からデータベースの挿入まで考えられたプロ指向の強い約5万円もするマクロメディアの「Dreamweaver MX」まで、一概に「ホームページ作成ソフト」としてもいろいろある。

「ホームページ・ビルダー」はその中間に位置する。しかし、まったくの中間層扱いでもなく、幅広いユーザーに利用されている。さらに今回のバージョン7では、ユーザーのウェブ制作の経験や使い勝手に合わせた3種類の編集スタイルを追加したほか、通常の編集画面と、HTMLソースを直接編集できる画面とを上下に表示させて、レイアウトを確認しながらタグを書き込める機能も持たせた。このため、「初心者か

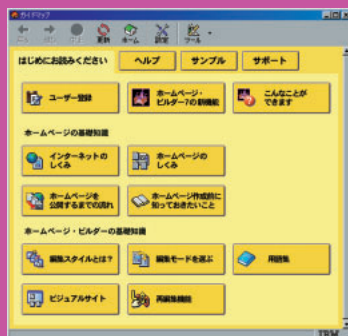
ら上級者まで使える」ソフトという面がより強化されている。

個人から教育機関などまで幅広く利用されるホームページ・ビルダーのユーザー数はいまや277万人に上る。新製品を出すたびにユーザーの声を拾い、開発に反映させてバージョンアップした経緯が製品の随所に見られる。これまでも自分でタグを書けない人のために、スタイルシート機能を潜在的に使う「どこでも配置モード」でウェブのデザインを自由に扱えるようにし、「HotMedia」の導入で、インタラクティブなページをより身近なものにした。

そして今回は、素材や「魅せる」ためのデザイン的な機能よりも、使い勝手に重点を置いた10個の新機能を搭載した。確実に作業効率を上げるこれらの機能を洗いざらいに見ていこう。



### 迷ったら開く「ガイドマップ」が心強い



ホームページ・ビルダー7では、作業手順を追うナビゲーション機能が充実しているが、わからなくなったときのヘルプとして「ガイドマップ」が用意された。ここでは、従来の「ヘルプ」だけでなく、ホームページを作るうえでの基礎知識やホームページ・ビルダー特有の機能についても紹介している。また、修正プログラムなどのバージョンアップ情報や製品ホームページにも簡単にアクセスできるようなサポートコーナーも設け、迷ったときにこれを開けば、ほとんどの解決策が見つかるだろう。



## 選べる3つの編集モードで作業効率をアップできる

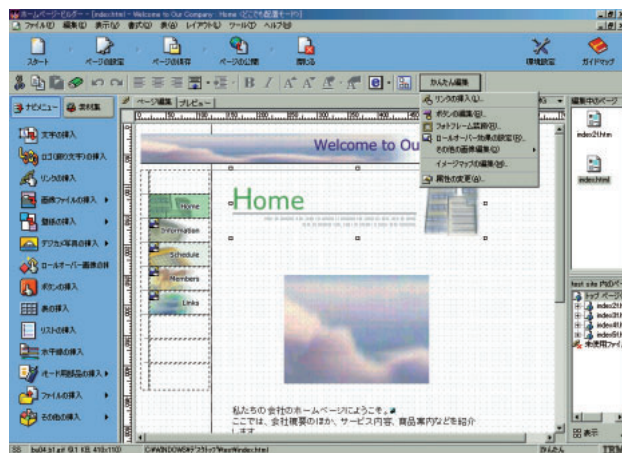
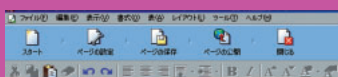
ホームページ・ビルダー7を起動すると、124ページ左下の画面が現れる。今回もっとも顕著な新機能が、ここで示す「かんたん」「スタンダード」「エディタース」の3種類の編集スタイルだ。

ページ作りの根本にあたる操作性が新しくなり、かんたんスタイルでは、必要最低限のツールアイコンだけを表示した。左側に配置された「ナビメニュー」はスタンダードスタイルにも用意されており、ツールバーを操作しなくても、ここから簡単にロゴやリンクを挿入できる。また、「かんたん編集」というボタンがツールバーに用意され、編集画面で画像などを選択したときにこのボタンを押すと、その画像で編集可能な操作だけを一覧で表示する。かんたんスタイルでは、ページ編集画面とプレビュー画面だけがタブで切り替えられるようになっていて、HTMLソースのタブは用意されていない。このことから、ソースを直接書き換ええない人に向けた編集スタイルと位置付けられている。

スタンダードスタイルは、従来のホームページ・ビルダーのインターフェイスを継承したもので、以前から使っていた人は一番扱いやすいだろう。さらにエディターススタイルは、「ナビメニュー」や「かんたんナビ」を取り払って、編集画面を広く使えるようにした。編集途中でこれらのスタイルを変更することもできるので、作業内容によってマメに使い分けるのも手だ。

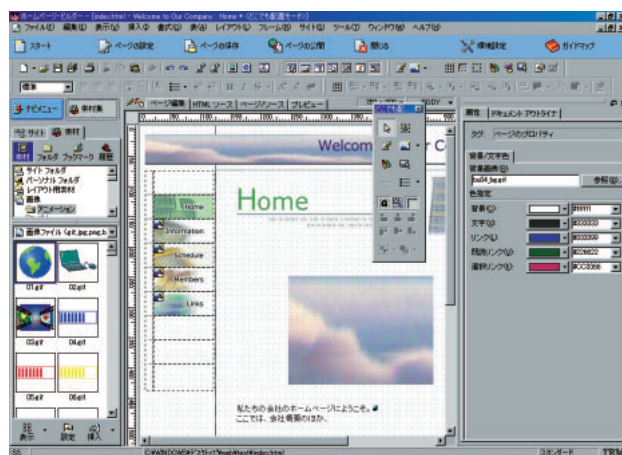
### 「かんたんナビ」で手順を確認

かんたんスタイルとスタンダードスタイルの画面上部に用意された「かんたんナビ」では、「スタート」でページやサイトの作成手順（テンプレート含む）、「ページの設定」で表示環境やフレームの設定、「ページの公開」では、転送方法やサイトマップ表示など、それぞれに大まかな4つの設定項目を用意してサイト構築を手助けする。



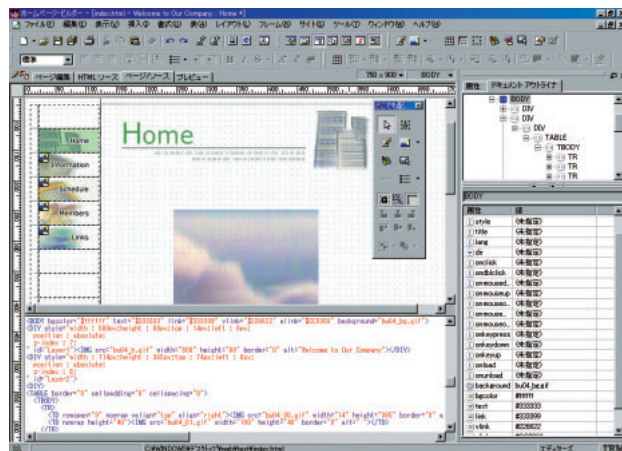
使用頻度の高いあらゆる挿入機能を用意した「ナビメニュー」を画面左に配置している。

かんたん  
スタイル



「ナビメニュー」を左に、「かんたんナビ」の縮小版を上置き、機能が詰め込まれている。

スタンダード  
スタイル



シンプルに構成しているぶん、ページ編集とHTMLソースを同時に表示するには最適。

エディタース  
スタイル

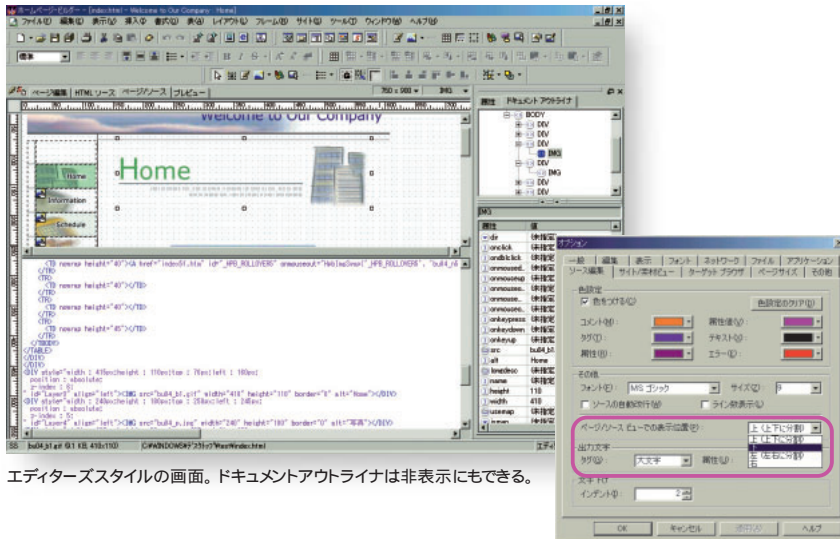


## 「エディーズスタイル」で画面切り替え不要!

今回のバージョンから、新たにページ編集画面とHTMLソース画面を上下に表示する機能が追加された。これはスタンダードスタイルとエディーズスタイルで利用できるが、必要最低限のツールアイコンで編集を行えるエディーズスタイルのときに利用するのがいいだろう。

今まではタブの切り替えによって、ページ編集画面とHTMLソース画面を切り替えていたが、それではどこがどう切り替わったのかを直感的に理解しづかった。そこで今回はさらに利便性をよくし、上下での表示となった。

ホームページ・ビルダーは元来、余計なソースを作りすぎると指摘されていた。このため、ホームページ・ビルダーの機能には満足しても、キレイなソースにはほど遠いことから一部のウェブ制作者には敬遠されがちだった。しかし、今回のバージョンアップにより、余計なタグが書かれてもす



エディーズスタイルの画面。ドキュメントアウトライナは非表示にもできる。

ぐに整理して修正できる柔軟性で、幅広いニーズに対応できるだろう。

実際に使ってみたところ、ページ編集で選択した画像に対応するHTMLタグを探すのに、多少動作が鈍い感じもしたが、これはPCに依存するところが大きいかもしれない。また、画面右に置かれた「ドク

メントアウトライナ」を併せて使えば、こちらで指定した数値やファイル名などが、そのままHTMLソースに反映できる。また、ツールメニューの「オプション」「ソース編集」で、ページ編集画面とソース画面を上下あるいは左右にどのように表示するかを選択できる。

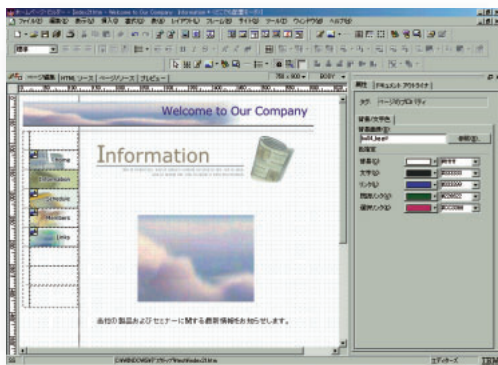


## 右クリックいらずの「属性ビュー」でサクサク手直し

ページ編集画面で属性を変更したいとき、通常は変更したい箇所を指定して、右クリックあるいは編集メニューで「属性の変更」を選ぶ。HTMLソースを直接書き換えるときにはそれほど気にならない作業でも、ページ編集画面ではいちいち専用画面を出さなくてはならず、結構な手間だ。

その手間が、ホームページ・ビルダー7で解消された。編集画面右に「属性ビュー」を表示でき、画面で指定している部位に応じて、随時属性ビューの表示内容が切り替わる。ページを指定すれば、「ページのプロパティ」で背景画像や文字色の指定ができるし、「画像のプロパティ」では画像のファイル名や代替テキスト、画像のサイズなどが指定できる。しかし、画像に挿入したり

リンクの変更はできないため、やはり右クリックが必要になってしまうのは残念。リンクテキストであれば、問題なく属性ビューで変更できる。属性ビューで画像の指定が簡単にできるのであれば、同様にリンク指定までもサポートしてほしい。それでも大筋は属性ビューで変更できそうだ。



画面右側が属性ビュー。画像や表などの属性をここで変更できる。

## ビデオファイルも手軽に挿入

エクセルやPDFのファイルに加えてビデオファイルも挿入できるようになった。操作は、ナビメニューの「ファイルの挿入」「ビデオファイル」でとても簡単。ファイル形式はASFやAVI、ウィンドウズメディアフォーマットにも対応しており、ページに手軽に映像を貼り付ける感覚だ。ビデオファイルの編集には、129ページで紹介する「ウェブビデオスタジオ」を使うといい。





## 全体を把握しやすい「ビジュアルサイト機能」で まるごとチェック

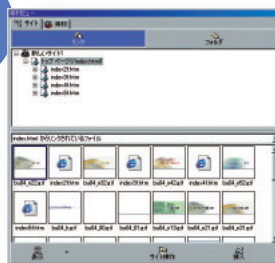
ページを作成しているときに、そのページがサイト全体のどこにあるかをビジュアルで表現し、リンクミスも一目でチェックできる「ビジュアルサイト機能」が新たに追加された。従来は、フォルダーとファイル名のツリー表示で確認できたが、今回はページの縮小画面が表示されることで、より全体の構造が把握しやすくなった。

アイコン化された縮小表示は、ページの更新があると星マークが付く。プロバイダーのウェブサーバーへのファイル転送は、「ページ転送」のほかに「サイト転送」があるため、後者を選べば従来どおりサーバーと同期を取りつつ、更新があったページのみを転送する。無事に転送されると、アイコンの星マークが消える仕組みだ。

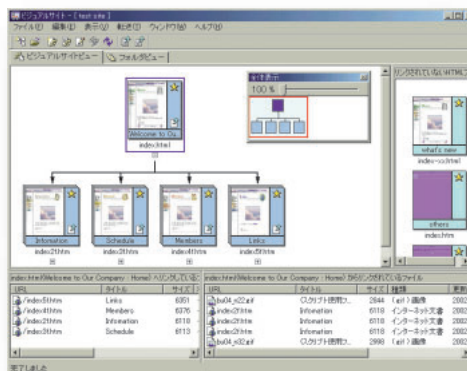
また、ビジュアルサイトの画面ではページのアイコンをドラッグして簡単に移動でき、ページの入れ替えに合わせて自動的にリンクの張り替えが行われる。もちろん

、「リンク切れ」(画面右)に置かれたアイコンをドラッグして貼り付けることもできる。ビジュアルサイトではページタイトルの変更もできる。アイコンのダブルクリックはそのページのリンク先の展開表示にあたり、ページを再編集したい場合にはやはり右クリックで指定する。

なお、ホームページ・ビルダーは以前からサイト内のアクセシビリティやスペル、構文エラーをまるごとチェックする機能があり、ビジュアルサイトでもそれが利用できる。



リンクの状況はフォルダーで確認。ページや画像を一覧表示できても、つながりがわかりづらい。



見やすいアイコン表示でリンクや更新状況が一目瞭然。アイコンは小さくもできる。



## 素材集の「ロゴ再編集」でオリジナルの作成が簡単

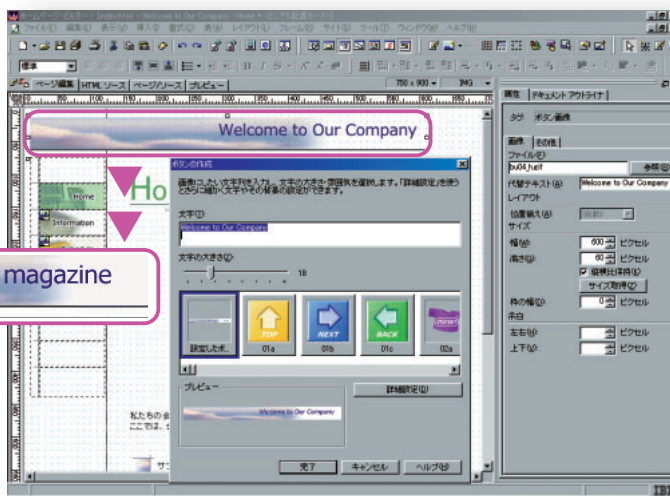
ホームページ・ビルダーには、ページ作成に便利なテンプレートやボタン、ロゴなどの素材が多数付属している。そのままでも使えるが、ちょっと工夫をしてオリジナルの素材として見せたい場合には、「ウェブアートデザイナー」(129ページ参照)などの画像編集ツールが便利だ。

ウェブアートデザイナーで作った画像はそのままホームページ・ビルダーのページ編集画面に挿入できる。挿入したあとに、「イメージが異なる」「文字の内容を変えたい」などの修正をしたい場合、今までは再度ウェブアートデザイナーを立ち上げて、画像を作り直す必要があった。

しかし、今回の新機能では、画像の編集がホームページ・ビルダー7のページ編集画面で行えるようになった。変更したい



ボタンの再編集画面。文字を変更するのはとても簡単。文字サイズの縮小、拡大もできる。



ロゴやボタンの画像をカーソルで指定し、右クリックで「ボタンの編集」や「ロゴの編集」を選べばいい。

付属ツールを別に立ち上げる場合、そ

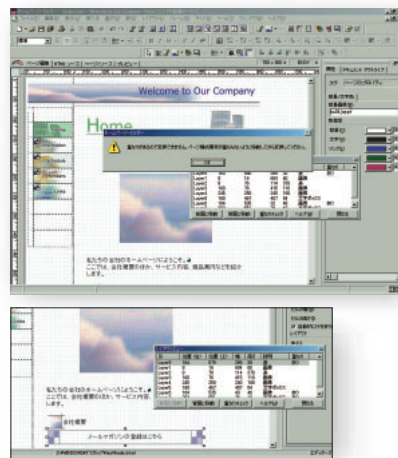
れなりにマシンのパフォーマンスが必要になるため、画面上でロゴの編集ができてしまうのは、余計なシステムリソースを食わないメリットもある。

## UP 2大ブラウザに自動対応した「どこでも配置モード」

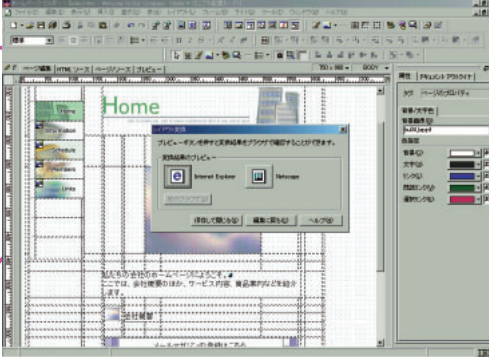
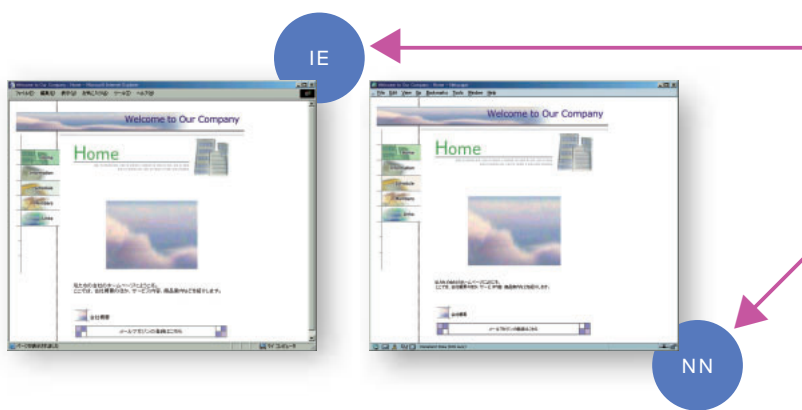
前バージョンで搭載された「どこでも配置モード」は、自由な発想で絵を描くのと  
同じように、好きな場所に文字や画像を置  
ける編集モードだ。これはスタイルシート  
を利用しているため、ブラウザに依存し  
てしまうことから、特にネットスケープナビ  
ゲーターでは見られない場合が多かった。

これを改善した新しい「どこでも配置モ  
ード」は、ページを保存するときに「ブラウ  
ザ共通のレイアウトに変換して保存」がで  
きる。ファイルメニューからこれを選ぶと、  
インターネットエクスプローラとネットスケ  
ープナビゲーターとで最適な表示になるよ

うに、レイアウト枠の重なりをチェックし、  
重なりがあればエラーを表示する。同時に  
「レイアウトビュー」を表示することで、ど  
の箇所がおかしいのが一目でわかる。こ  
こで指摘点を修正したあと、さらにレイア  
ウトビューの「重なりチェック」で、重なり  
をなくすまで修正を繰り返す。問題がなくな  
ると、「レイアウト変換」画面が表示され、  
インターネットエクスプローラとネットスケ  
ープナビゲーターでプレビュー表示がで  
きるようになる。両方のブラウザでチェッ  
クするには、それぞれがインストールされ  
ている必要がある。



「ブラウザ共通のレイアウトに変換して保存」を行おうと  
したところ、「重なり」があってエラーが表示された。



「重なり」がなくなると、「レイアウト変換」画面が表示され、各ブラウザ  
でプレビュー表示できる。

## UP 画像の「サムネイル&スライドショー」ページを短時間で一気に作れる

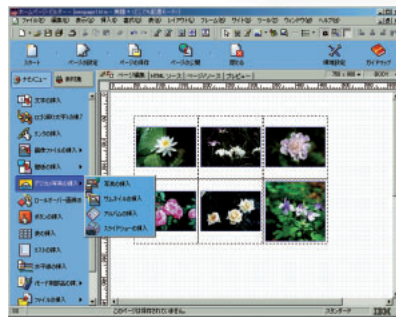
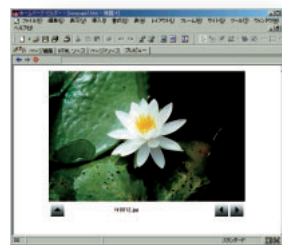
ホームページ・ビルダーには、もともと  
「画像の効果」機能で、指定した画像ファ  
イル数点を使って、サムネイルやアルバム、  
スライドショーを自動的に生成する機能  
がある。このため、自分でテーブルレイア  
ウトやスタイルシートを使ってサムネイルを  
一から作る必要はなかった。

この機能が、ホームページ・ビルダー7  
でさらに便利になった。サムネイル表示さ  
せた画像の1つをクリックして拡大すると  
前後を表す矢印ボタンが表示され、スライ  
ドショーのように全画像を通して見られ  
るようになる。このとき、拡大画面で画像の  
ファイル名を表示させたり、矢印ボタンの

種類と位置を選べたりする設定もある。ウ  
ィザードに従って操作するだけで作れてし  
まうため、撮ってきた画像をすぐにウェブ  
にアップロードしたいときに役立つ機  
能だ。



サムネイルをクリックしたときに表示する画像  
のリンクやレイアウトなどを設定する。



表示したい画像を選べば、自動的にサムネイルができあ  
がる。拡大画面へのリンクも自動で設定される。

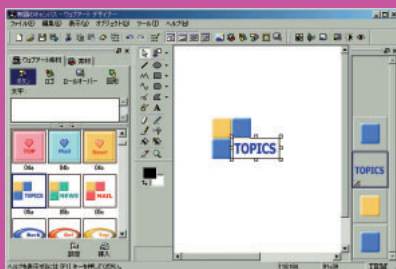
## ページを彩る付属ツールがウェブ作成に大活躍

ホームページ・ビルダー7は豊富な素材と複数の画像編集ツールが付属する。

ボタンやロゴを簡単に作れる「ウェブアートデザイナー」は、手早くオリジナリティーに富んだ素材を作れるのが魅力だ。JPEG、GIF、PNGのファイル形式で保存できる。「ウェブアニメーター」は、複数の画像からGIFアニメーションを作成できるツールだ。「ウェブビデオスタジオ」は、動画や静止画の素材にタイトル、エンドロールを追加してビデオ素材を作り、AVIファイルやウィンドウズメディア、QuickTime形式でファイル出力する。また「HotMediaクリエイター」は、3DやiPIXも取り込み、画像のズームやスクロールにより、さまざまな角度でモノを見られるようにする。

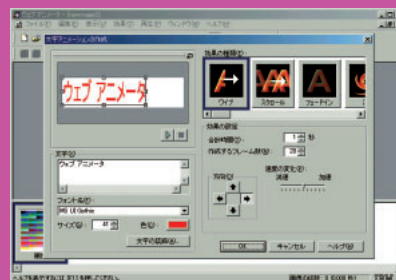
ほとんどが親切なウィザードで操作できるが、HotMediaクリエイターだけは、メイン画面がシンプルでほかとはインターフェイスが異なる印象。このため直感的には操作できないのが残念。しかし、すべてのツールから直接ホームページ・ビルダー7のページ編集画面にファイルを吐き出せるため、一貫した操作性を実現している。

### ウェブアートデザイナー



ボタンやロゴの作成ツール。ほかしやエンボスの効果や陰を付けるのも簡単。

### ウェブアニメーター



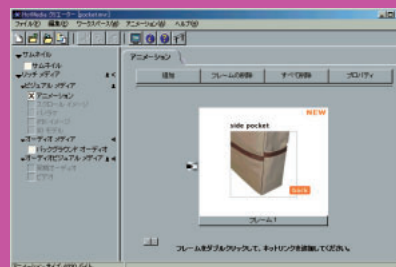
GIFアニメーション作成ツール。文字や画像にフェードイン・フェードアウトなどのさまざまな動きを加えられる。

### ウェブビデオスタジオ



ウェブページに掲載できる軽量のビデオ作成ツール。DVからの取り込みにも対応。

### HotMediaクリエイター



画像にズームやスクロール機能を取り込める。ECサイトの商品見本や地図の表示に最適。

### さっそく使ってみました！ 編集部満足度チェック

ベータ版入手にあたり、さっそく編集部の3人が試用した。感想を聞くとともに、右図の5項目でそれぞれ5点満点で評価をしてもらった。見事なまでに評価が分かれたが、それほど豊富な機能とあらゆる可能性を持ったウェブ作成ツールだといえそうだ。

#### 編集部 三島のコメント

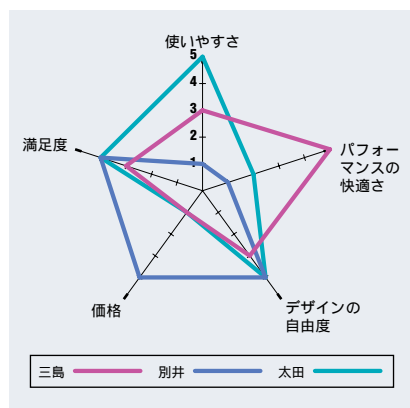
ほかのエディターより直感的にいじれてラクチン。いい悪いを別にして、**テーブルレイアウトが簡単**にできる。ただ編集スタイルが初心者向けにならばなるほど、逆にわかりにくくなっているような……。

#### 編集部 別井のコメント

ウェブサイト構築に関するツールや素材集が「これでもか!」というほどすべて入っている。それでいて、**この価格には脱帽**。以前は自動的に余計なタグを付与与することもあったので嫌だったが改善されている。

#### 編集部 太田のコメント

以前からホームページ・ビルダーを使っているが**かゆいところに手が届いた**嬉しい仕上がり。一方で、とにかく重い! そのためのバックアップ機能もよくなっていて、途中でマシンが落ちても安心?!





## [インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

**株式会社インプレスR&D**

All-in-One INTERNET magazine 編集部

[im-info@impress.co.jp](mailto:im-info@impress.co.jp)